

11 月 7 日 : VN 指数は利益確定売りで下落 (VN-Index -0.86%)

- VN 指数は前日終値を大きく下回り取引を開始した。大型株では VCB (-1.34%) の下落やセクター別では不動産、金融サービスが相場を押し下げた。
- その後は徐々に落ち着きを取り戻す展開となった。しかしながら前日終値を上回るほどの資金流入は無く、何度か下へと押し戻された。
- 午後に入ると、さらに売りが全体へと広がった。
- 銀行、金融サービス、不動産セクターが大きく売られ、相場の下げを主導した。その他のセクターも徐々に弱含んだ。
- 138 銘柄が上昇、378 銘柄が下落、83 銘柄は変わらずと幅広い銘柄が売られた。
- 流動性は 10.8%減となり売買代金は 12.5 兆ドンだった。

銀行株が VN30 指数を押し下げる (VN30 -0.98%)

- 大型株で構成される VN30 指数は 2 銘柄が上昇、26 銘柄が下落、2 銘柄が変わらずだった。
- HPG (+0.19%) と MWG (+0.39%) の 2 銘柄のみが上昇した。
- 一方、VRE (-3.54%)、SSB (-3.56%)、MSN (-3.13%)、VHM (-2.44%) などが主な下落銘柄だった。

セクター・個別株の動き

- SSI (-2.24%)、VND (-2.14%)、HCM (-1.64%) といった金融サービスセクターが振るわない。VSD が 10 月に発表した証券口座数の減少が嫌気された。詳細は不明だが、10 月に 37.8 万口座が閉鎖された。
- サウジアラビアの減産報道を受けて、原油・ガスセクターの PVD (+1.74%)、PVC (+6.57%)、PVB (+9.95%) といった銘柄が上昇。



- 外国人投資家は 2,404 億ドルの売り越し。個別銘柄では MWG と VRE が売られていた一方、HPG は大きく買い越されていた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。